

令和 6 年度 事業報告

《令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日》

第 1 事業活動の概況

1 交通安全活動に対する県民の理解・協力を確保するための広報啓発事業

(1) 交通安全全国（県）民運動の実施

当連合会は、交通安全運動の推進団体として、関係機関・団体及び各地区交通安全協会と連携して、春の全国交通安全運動（4/6～4/15）、夏の交通安全県民運動（7/11～7/20）、秋の全国交通安全運動（9/21～9/30）及び年末年始の交通安全県民運動（12/21～1/4）に取り組むとともに、会長等による各地区交通安全協会への激励を実施した。

また、ラジオ、街頭ビジョン、バス広報、ポスター横断幕の掲示、広報車等を活用した街頭活動を実施した。

(2) 交通安全広報・啓発活動の推進

飲酒運転根絶及び交通ルールの遵守・交通マナーの実践など、県民の交通安全意識の高揚を図るため、交通安全広報・啓発活動を推進した。

ア ポスター等による広報

交通安全広報用のポスター・ステッカー・チラシ・懸垂幕・のぼり等を製作し、各地区交通安全協会を介して、各地域の職場や学校等に配布した。

【活動推進状況】

◆交通安全広報・啓発用ポスター、チラシなどの製作・配布状況

・交通安全年間広報用ポスター	600	枚
・交通安全ニュース	68,000	枚
・交通安全運動用広報テープ・CD・SD	60	本
・交通安全運動用懸垂・横断幕	12	本

◆交通安全教育資機材の購入整備・活用状況

・カラー反射材リストバンド	15,000	本
・ランドセルカバー	5,800	枚
・交通安全絵本（沖縄トヨタ自動車）	75,600	冊

イ ラジオ等を活用した広報

運動期間中におけるラジオ広報（各季30本）、地域コミュニティラジオ出演による広報及び街頭ビジョン（9箇所約9,500本）を活用した広報活動を行った。

ウ 交通安全街頭広報

各季の交通安全運動期間中及び毎月1日の「交通安全県民の日」「飲酒運転の根絶運動の日」、毎月20日の「県民交通事故0の日」には、広報車による街頭広報活動を行った。

エ 交通安全年間スローガンの広報

県警察と連携し、交通安全年間スローガン及びポスターを作成し、関係機関団体等への配布及び県内紙に新聞広告を掲載して県民への周知を図った。

オ 交通安全広報紙「沖縄県交通安全ニュース」の発行

県民の交通安全意識の高揚を図るため、広報紙「沖縄県交通安全ニュース」を季刊毎

に春・夏・秋・新年号（各季17,000部）を発行した。

(3) 交通安全教育資機材等の効果的活用

ア 各種交通安全マニュアルの配布

県・県警察から受託している更新時講習等、各種講習の内容充実を図り、交通安全教育を効果的に推進するため、「安全運転自己診断」等の冊子を購入配布し活用した。

【教本・リーフレット・冊子などの購入整備・配布状況】

・安全のしおり	202,500	部
・安全運転自己診断	52,700	冊
・原付車教本	2,200	冊

イ 各種視聴覚教材の充実と活用

(ア) 交通事故率が高い二輪運転者・高齢者に向けたビデオ教材を充実させ、交通安全講習会等における視聴覚教材として活用し、交通事故防止に努めた。

(イ) 交通安全教育用ビデオ、DVD及び教育用資機材を各地区交通安全協会、学校及び事業所等へ積極的に貸し出し、視聴覚教材を活用した交通安全教育の充実を図った。

【交通安全教育用資機材の貸し出し状況】

・教育用ビデオ・DVD	43	回（89本）
・クイックアーム	13	回
・クイックステップ	3	回
・飲酒運転疑似体験ゴーグル	18	回
・自転車シミュレーター	2	回

ウ 寄贈を受けた交通安全対策資器材の活用

県内企業から寄贈を受けた、交通安全絵本、交通安全横断旗、携帯用反射材を各地区交通安全協会を介して、児童・園児や高齢者等に配布活用して交通事故防止を図った。

【寄贈を受けた交通安全資器材の活用・配布状況】

・交通安全横断旗（こくみん共済）	106	本
・交通安全横断指導旗（全安協）	80	本
・交通安全絵本（沖縄トヨタ自動車）	75,600	冊
・反射材（JA共済）	25,000	個
・緑色TSマーク啓発用ポケットティッシュ	8,500	個
・高齢者ドライバーズクリニック用資機材（全安協）	1	式
視野診断計（ビジュアル・フィールド・チェッカー）		
、動体認知測定装置（ダイナミック・ビジランス・チェッカー）		
運転・歩行能力診断（点灯くんミニタイプ）		
交通事故予防（セフティー・ドライブ・チェッカー）		

(4) 表彰制度の適正な運用

交通安全活動に尽力し、交通事故防止に功労のあった個人・団体及び永年無事故・無違反運転を継続して模範となっている優良運転者等の功績を称え、交通安全思想の普及高揚を図るため、数多くの個人（団体）を表彰した。

【表彰実施状況】

ア 沖縄県警察本部長・沖縄県交通安全協会連合会長連名表彰

・交通安全功労者	33名
・優良安全運転管理者	3名
・優良運転者	47名
・交通安全優良団体	2団体
・交通安全優良事業所	4事業所
・交通安全優良学校	1校

イ 全日本交通安全協会会長表彰【交通栄誉章「緑十字銅章」】

・交通安全功労者	24名
・優良運転管理者	3名
・優良運転者	40名

ウ 九州管区警察局長・九州交通安全協会会長連名表彰

・交通安全功労者	13名
・交通安全功労団体	1団体
・優良安全運転管理者	1名
・優良事業所	1事業所
・優良運転者	17名

※九州交通安全協会会長表彰

・優良職員	2名
-------	----

エ 警察庁長官・全日本交通安全協会会長連名表彰

・交通栄誉章「緑十字金章」 交通安全功労者	2名
・交通栄誉章「緑十字銀章」 交通安全功労者	5名
優良運転者	1名

オ 沖縄県交通安全功労者等表彰（県知事）

・交通安全功労者	11名
・優良運転者	1名
・交通安全功労団体	3団体
・飲酒運転根絶功労団体	1団体

(5) SNS等を活用した情報の発信

当連合会の事業活動を広く県民に周知して業務への理解と協力を得るため、ホームページやInstagramを活用し、
各地区交通安全協会の交通安全活動状況
交通安全功労者等表彰
子ども自転車大会実施状況
原付講習の空き状況
等タイムリーな情報発信をした。

また、マスコットキャラクター「ガオット」を発行物等に印刷し、当連合会の周知に努めた。

2 交通事故の実態を踏まえた実践的な交通安全指導・教育事業

(1) 交通安全指導（対策）の積極的推進

ア 新入園児、新入学児童に対する安全指導の実施

各地区交通安全協会を介して、新入園児及び新入学児童へランドセルカバー等の交通安全用品を配布した。

また、各地区交通安全協会と連携し、新入園児及び新入学児童を対象に登下校時における交通事故防止を図るため、模擬交通信号機を活用した正しい横断方法や交通マナーに関する交通安全指導及び通学路における街頭指導を実施した。

イ 高齢者交通事故防止対策の強化

高齢運転者の交通事故防止のため、各地区交通安全協会と連携し、ドライバーズクリニックを開催した。（7回、38人）

また、高齢歩行者の交通事故防止のため、反射材の普及促進を図った。

ウ 自転車の交通安全指導

(ア) 自転車の安全利用5則等の浸透を図るため、各地区交通安全協会において自転車シミュレーター等を活用した自転車安全運転教育を実施した。

また、「第45回交通安全子供自転車沖縄県大会」を開催し、団体優勝した小学校を全国大会に派遣した。

※ 優勝校：恩納村立山田小学校 全国大会：34位

(イ) 自転車安全整備店の登録拡大とTSマークの普及拡大を図った。

(ウ) 自転車保険（全日本交通安全協会の新規事業）の加入促進を図った。

エ 自動車運転者への交通安全指導の強化

(ア) 事業所等に対し、クイックアーム、クイックステップ等の反射測定装置及び交通安全DVDを貸与し、各事業所等で活用した交通安全意識の高揚を図っている。

(イ) 事業所において、職場における交通事故防止対策の重要性や飲酒運転の悪質・危険性について講話し安全運転意識の高揚を図った。

※ 18回（1,675人）

オ 交通安全年間スローガン、交通安全ファミリー作文及びポスターデザインの募集

全日本交通安全協会等が実施する交通安全スローガン、交通安全ファミリー作文及びポスターデザインの募集については、各地区交通安全協会及び県警察、教育庁等と連携して広く県民から募集し、応募作品は全て全日本交通安全協会等に送付する。

(2) 飲酒運転根絶対策の積極的推進

沖縄県飲酒運転根絶条例に基づき策定された「沖縄県飲酒運転根絶に関する基本方針」に沿って、各地区交通安全協会、関係機関・団体等と連携し、次の施策を推進した。

ア 飲酒運転脱ワースト運動

イ 飲酒運転（四）ない運動

ウ ハンドルキーパー運動

エ 飲酒運転の根絶運動の広報活動

オ 飲酒運転根絶ピンバッジの普及促進（424個販売）

3 道路交通法等の法令に基づく、県・県公安委員会からの受託事業

道路交通法及び自動車保管場所の確保に関する法律の規定に基づく県・県公安委員会からの次の受託事業を適正に推進した。

(1) 法定講習

ア 更新時講習	179,309人 (前年同期比 + 5,652人)
イ 違反者講習	13人 (前年同期比 - 10人)
ウ 停止処分者講習	56人 (前年同期比 + 5人)
エ 安全運転管理者等講習	4,645人 (前年同期比 + 315人)

(2) 運転免許事務

ア 運転免許証記載事項の変更届	72,804件 (前年同期比 + 1,904件)
イ 更新情報提供	376,195件 (前年同期比 +29,859件)
ウ 運転免許証の写真撮影	253,067件 (前年同期比 +14,199件)

(3) 原付講習

193回 2,083人 (前年同期比 +25回、+538人)

(4) 自動車保管場所事務

ア 受付	97,880件 (前年同期比 + 3,315件)
イ 電算入力	97,551件 (前年同期比 + 2,992件)
ウ 調査	88,015件 (前年同期比 + 3,508件)
エ 交付	96,395件 (前年同期比 + 2,925件)

(5) 道路使用許可に係る確認調査事務

調査数 808件 (那覇署 489件、豊見城署 319件)

(6) 警察緊急自動車運転資格に関する適性検査

4回 77人

4 運転免許行政の円滑な運用に寄与するための証紙販売

沖縄県警察運転免許センター及び同センター中部講習所において、運転免許申請に必要な沖縄県証紙を販売 (証紙売捌事業収益 22,836,000円)

5 交通事故に関する相談事業

県及び県警察と連携し、交通事故に関する相談業務を推進した。(相談件数112件)

6 収益事業

(1) 免許事務及び安全運転関連事業

- ア 運転免許申請に伴う写真撮影業務
- イ 運転免許センター技能試験コースにおける開放事業 (第2・第4日曜日)
- ウ 初心者マーク、高齢者マーク、運転代行マーク及び聴覚障害者マーク等の交通安全機材の斡旋、販売

(2) 太陽光発電システム事業の推進

太陽光発電売電料 1,123,215円 ※ 平成26年4月から運用開始

(3) 不動産賃貸事業

平成27年7月から当連合会2階事務所を民間企業 (リゾート琉球(株)) に賃貸 (賃貸料 5,400,000円)

7 その他の事業

(1) 関係機関・団体との協力関係の確保

- ア 受託業務を適正に推進するため、県公安委員会、県警察本部主管課及び関係警察署等と緊密な連携を図るとともに必要な指導・援助を要請した。
- イ 幅広い交通安全対策を推進するため、県、県警察及び県交通安全母の会等をはじめ交

通関係機関・団体及びその他関係団体（二普協、自転車商協同組合、J A F）との協力確保に努めた。

(2) 職員の資質向上

職員の資質向上を図るため、主に窓口業務担当と適宜係ごとの少人数での教養を実施している。また、自動車安全運転センター中央研修所等が主催する各種研修会に職員を派遣している。